

東陸連小三重大会に係る「発表者・司会者」（三重県以外）への連絡事項について

東陸連小三重大会分科会では、たいへんお世話になります。

分科会の打合せ等についてお知らせします。

※この打合せ会に、「発表補助」の方は出席いただかなくて結構です。

1 各分科会場への集合について・・・10月18日(木)午前11時30分

○第1～9分科会：津駅西口より三重県総合文化センターまで、シャトルバスが10:50から運行していますのでご利用ください。（約10分です）

三重県総合文化センター到着後、各分科会場へお越しください。

○第10・11分科会：津駅東口より隣接している「アスト津」4Fの分科会場へお越しください。

○第12・13分科会：津駅東口より東へ(徒歩)→国道23号を渡り→三重県教育文化会館5F・6Fの分科会場へお越しください。（約5分）

2 受付

○各分科会場で受付を済ませてください。

○プレゼン資料があれば、受付で担当者のお渡しください。

○各分科会場は、席が決まっていますので、自席の机上においてある資料等（大会要録等一式、名札、ペットボトル）を持って、打合せ会場へ移動し、打合せ会にご参加ください。※お弁当は、打合せ会場にご用意します。

3 分科会打合せ会

【分科会打合せ会（昼食含む）】11:30～ 下の打合せ会場にて。

1 時刻集合・・・11:30

2 出席者

分科会：発表者（三重県1+他県1）、司会（三重県2+他県1）、基調提案者（研究委員1）

3 場所：打合せ会場・各分科会場（次の表を参照）

4 内容

<進行>基調提案者（研究委員） ※食事をしながら、学校名・名前の確認を！

<打合せ内容> ※適当なところで、各分科会場へ移動する。

①自己紹介

②分科会全体の進行について

③発表県の進行の仕方について

・分科会運営細案（発表県司会 分科会）等 を参照

④グループ討議の進行について

・分科会運営細案（グループ司会 分科会）等 を参照

⑤発表者には、プレゼンテーションの動作確認を依頼する。

4 分科会関係者打合せ会場

分科会	参加者数	G数	分 科 会 場		打合せ会場
第1分科会	67	8	三重県 総合文化センター	三重県文化会館 1階 レセプションルーム	三重県 文化会館 2階 中会議室
第2分科会	52	6		三重県文化会館 2階 大会議室	
第3分科会	70	9		三重県文化会館 2階 第1ギャラリー	
第4分科会	67	8		三重県文化会館 2階 第2ギャラリー	
第5分科会	77	9		生涯学習センター 4階 大研修室	男女共同参画 センター 2階 セミナー室B
第6分科会	58	7		生涯学習センター 4階 中研修室	
第7分科会	70	9		男女共同参画センター 2階 セミナー室A	
第8分科会	68	8		男女共同参画センター 3階 セミナー室C	
第9分科会	52	6	三重県総合博物館	3階 レクチャールーム	2階 交流活動室
第10分科会	78	10	アスト津	4階 アストホール	4階 会議室1
第11分科会	52	6		4階 研修室A	
第12分科会	73	9	三重県 教育文化会館	5階 大会議室	5階 中会議室
第13分科会	52	6		6階 多目的ホール	

5 各分科会の研究課題・討議の柱立て等について【別掲】

第1分科会 討議の柱立て

1 研究課題

創意と活力に満ちた学校経営ビジョンと校長の在り方

2 討議の柱(リーダーシップの視点)

- (1) 将来を見据えた明確な学校経営ビジョンを策定していくために校長の果たすべき役割と指導性について
- (2) 確かな子どもの未来を実現するための学校の果たすべき役割を明確にした学校経営ビジョンを示し、子どもの夢の実現に向けた創造的な学校経営の推進のために校長の果たすべき役割と指導性について

- ・ 学校間連携の中で、ビジョンの共有をどのように図っているか。
- ・ 学校間連携を進めていくために、どのような手だてや配慮をしているか。
- ・ 地域の願いも受け止めながら子どもにつけたい力を育成するためにどのように学校運営を進めるか。

第2分科会 討議の柱立て

1 研究課題

学校経営ビジョンの実現と活力ある組織づくりにおける校長の在り方

2 討議の柱(リーダーシップの視点)

- (1) 学校経営ビジョンを実現するため、活力と実効性のある組織づくりに向けた校長の果たすべき役割と指導性について
- (2) 教育課題の解決に向けて、組織を活性化し、活力ある学校運営を実現するための校長の果たすべき役割と指導性について

- ・ 教職員の学校経営参画意識を高める組織づくりの有効な取組や配慮すべき点は何か。
- ・ 教職員の資質を高めるとぎれのない人材育成をどのように進めるか。
- ・ 特色ある教育活動による組織の活性化を進めるための教育活動や指導体制で工夫する点や配慮すべき点は何か。

第3分科会 討議の柱立て

1 研究課題

学校教育の充実を図るための評価・改善と校長の在り方

2 討議の柱(リーダーシップの視点)

- (1) 学校目標の実現を図るための学校評価を、組織的・継続的な学校経営の工夫・改善のツールとして効果的に活用する上での、校長の果たすべき役割と指導性について
- (2) 学校目標の実現を図るため、教職員の人事評価を人材育成の工夫・改善に効果的に生かす上での、校長の果たすべき役割と指導性について

- ・ 工夫・改善につながるツールとして評価を生かすためには、どのような学校評価にすればよいか
- ・ PDCAサイクルの中で、保護者や地域住民とどのように連携や参画を進めているか。
- ・ 人事評価の信頼性を高めるためにどのような工夫をしているか。
- ・ 人材育成の工夫・改善に生かす人事評価をどのように進めているか

第4分科会 討議の柱立て

1 研究課題

知性・創造性を育むカリキュラム・マネジメントと校長の在り方

2 討議の柱(リーダーシップの視点)

- (1) しなやかな知性と豊かな創造性を育む学習指導と評価の在り方を明らかにしていくための校長の果たすべき役割と指導性について
- (2) しなやかな知性と豊かな創造性を育む教育課程を編成・実施・評価・改善していくための校長の果たすべき役割と指導性について

- ・ 教科等横断的な教育課程の工夫や評価をどのように進めるか。
- ・ 教職員がカリキュラムマネジメントを主体的に取り組むには、どのような手だてや配慮が必要か。
- ・ 地域資源を生かした教育課程の編成・実施には、どのような手だてや配慮が必要か。
- ・ 学校間連携を深めた教育課程の編成・実施には、どのような手だてや配慮が必要か。

第5分科会 討議の柱立て

1 研究課題

豊かな人間性を育むカリキュラム・マネジメントと校長の在り方

2 討議の柱(リーダーシップの視点)

- (1) 学校・地域の実態に即した, 他人を思いやる心, 生命や人権を尊重する心, 正義感や公正さを重んじる心等, 社会を生き抜くために必要な人権感覚を育むための校長の果たす役割と指導性について
- (2) 豊かな心を育む道德教育を推進する上での, 校長の果たすべき役割と指導性について

- ・ 人権教育を進めるために, 家庭や地域とどのように連携・協働を進めるか。
- ・ 人権感覚を育むために, どのような取組を進めているか。
- ・ 特別の教科道德としてスタートした, 現時点での成果, 課題, 改善点は何か。

第6分科会 討議の柱立て

1 研究課題

健やかな体を育むカリキュラム・マネジメントと校長の在り方

2 討議の柱(リーダーシップの視点)

- (1) 豊かなスポーツライフの実現に向けた教育活動を推進するための校長の果たすべき役割と指導性について
- (2) 心身ともに健やかな成長を目指す健康教育の推進のために、校長の果たすべき役割と指導性について

- ・ 身体運動の活動時間・内容を工夫するために、どのような取組を進めているか。
- ・ 教員への指導と研修を進めるには、どのような手だてや配慮が必要か。
- ・ 身体的・心理的・社会的側面からどのように健康教育を進めるか。

第7分科会 討議の柱立て

1 研究課題

学校の教育力を向上させる研究・研修の推進における校長の在り方

2 討議の柱(リーダーシップの視点)

- (1) 教職員の資質・能力の向上を目指す校内研究, 展望や参画意識等をもたせる研修を推進していくための校長の果たすべき役割と指導性について
- (2) 教職員に将来の展望や学校経営への参画意識をもたせる研修を推進する上での校長の果たすべき役割と指導性について

- ・ 研修の充実を図るために, どのように県や市町村と連携を進めるか。
- ・ 教職員の資質・能力を高めるために, どのように学校独自の研修を進めるか。
- ・ キャリアステージに応じた役割と, 求める資質・能力に応じた研修をどのように進めるか。

第8分科会 討議の柱立て

1 研究課題

これからの学校運営を担うリーダーの育成と校長の在り方

2 討議の柱(リーダーシップの視点)

- (1) 確かな指導理論をもち、優れた実践力と応用力のあるミドルリーダーの意図的・計画的な育成を図る上での校長の果たすべき役割と指導性について
- (2) 鋭い時代感覚を磨き、時代の変化に柔軟に対応する人間性豊かな管理職人材の育成を図る上での校長の果たすべき役割と指導性について

- ・ ミドルリーダーの活動内容と、育成に向けて工夫する点や配慮すべき点は何か。
- ・ 管理職人材育成に向けて、管理職への意欲を高めるために工夫する点や配慮すべき点は何か。

第9分科会 討議の柱立て

1 研究課題

命を守る防災教育・安全教育の推進と校長の在り方

2 討議の柱(リーダーシップの視点)

- (1) 子どもが主体性をもって災害や事件・事故等から自らの命を守る危険予測・回避能力をはじめ,自ら判断し行動できる力を身につけることができるための防災教育・安全教育を推進するための校長の果たすべき役割と指導性について
- (2) 家庭・地域との連携を図った組織的かつ計画的な取組を推進するための校長の果たすべき役割と指導性について

- ・ 危険予測・回避能力を育むためにどのような体験的学習を進めているか。
- ・ 自ら判断・行動できる子どもを育むカリキュラムの作成にあたって,工夫する点や配慮すべき点は何か。
- ・ 防災教育・安全教育を推進するために,家庭・地域と連携を図っていく上で,工夫する点や配慮すべき点は何か。

第10分科会 討議の柱立て

1 研究課題

様々な危機への対応と未然防止の体制づくりにおける校長の在り方

2 討議の柱(リーダーシップの視点)

- (1) いじめや不登校等への適切な対応のための取組を推進する上での、校長の果たすべき役割と指導性について
- (2) 高い危機管理能力の育成と、未然防止の組織体制づくりや関係機関との連携づくりを推進する上での、校長の果たすべき役割と指導性について

- ・ いじめ・不登校等への対応のために、どのような工夫や配慮をしているか。
- ・ 児童の安全を脅かす様々な事件や事故等に対する教職員の危機管理能力を高めるためにどのような取組を進めるか。
- ・ 児童の安全・安心確保のために、保護者・地域との信頼関係の構築、関係機関との連携をどのように図っているか。

第11分科会 討議の柱立て

1 研究課題

社会形成能力を育む教育活動の推進と校長の在り方

2 討議の柱(リーダーシップの視点)

- (1) 他者と協働して主体的に社会に参画し、貢献しようとする意欲や態度を身に付けることができる教育活動を推進する上での、校長の果たすべき役割と指導性について
- (2) 教育活動全体を通じて、豊かな未来社会の実現に貢献する力を育むキャリア教育を推進する上での、校長の果たすべき役割と指導性について

- ・ 地域人材や地域資源を活用する取組をとおして、子どもたちの夢や高い志を育成するための、手立てや配慮すべきことは何か。
- ・ 小中連携などにより、途切れない効果的なキャリア教育を推進するための、手立てや配慮すべきことは何か。

第12分科会 討議の柱立て

1 研究課題

自立や共生の実現に向けた特別支援教育と環境教育の推進における校長の在り方

2 討議の柱(リーダーシップの視点)

この分科会では、「特別支援教育」と「環境教育」の2分野があるため、討議の時間を2つに区切って進行してください。

(1) 子どもの自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援する特別支援教育を推進する上での、校長の果たすべき役割と指導性について

- ・ 教職員の専門性の向上と授業改善を図るための研修をどのように進めるか。

(2) 学校全体で取り組む環境教育の推進と指導体制づくりにおける校長の果たすべき役割と指導性について

- ・ 学校の特色を生かした環境教育をどのように推進するか。

第13分科会 討議の柱立て

1 研究課題

家庭・地域等との連携と異校種間接続の推進における校長の在り方

2 討議の柱(リーダーシップの視点)

- (1) 家庭や地域等との相互理解や連携・協働を深め、特色ある教育活動を展開する上での、校長の果たすべき役割と指導性について
- (2) 異校種間の成長の連続性を重視し、円滑な接続を推進する上での、校長の果たすべき役割と指導性について

- ・ 地域とともにある学校づくりを進めるための、手立てと配慮は何か。
- ・ 小学校から中学校への「接続」を意識し、どのような取組をしていくか。